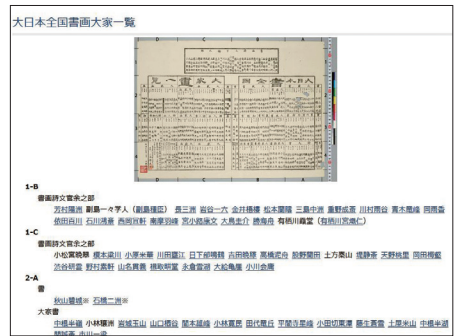


文化財情報資料部

### 研究資料データベース(シ05の一環として実施)

東京文化財研究所が作成、収集した研究資料の画像データやテキストデータを検索・閲覧することができるウェブデータベース。現在、18件のデータベース、9万件弱のデータを公開しており、すべてのデータベースを横断的に検索可能で、一部を除き「東文研 総合検索」からの横断検索にも対応している。平成30年度には、明治大正期に刊行された書画家番付61点を対象に、そのデジタル画像を取得し、番付の名称及び所載の人名による検索を可能とした「明治大正期書画家番付データベース」、及び同データベース所載の人名を一覧化し、各番付での分類を示した「書画家人名データベース(明治大正期書画家番付による)」の2件を追加した。www.tobunken.go.jp/materials/



文化財情報資料部

2-(4)-②-1)

### 平成29年版『日本美術年鑑』刊行事業・出版事業『美術研究』(シ07)

日本美術年鑑

2017

東京文化財研究所

#### 『日本美術年鑑』

日本美術年鑑は、我が国の各年の美術活動と美術研究・批評の状況を記録した刊行物である。文化財情報資料部では当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所が1936(昭和11)年から始めた『日本美術年鑑』の編集を引き継ぎ、刊行を継続してきた。平成29年版は、B5判、566ページとなった。出版に際し、東京美術商協同組合、株式会社東京美術倶楽部より助成を受けた。

#### 『美術研究』

1932(昭和7)年1月、当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所の初代所長・矢代幸雄の提唱により第1号を刊行。以来、80年以上にわたり、日本・東洋の古美術ならびに日本の近代・現代美術とこれらに関する西洋美術についての論文、研究ノート、書評、展覧会評、研究資料・図版解説等を掲載している。本年度は425号、426号、427号を刊行した。出版に際して、東京美術商協同組合、株式会社東京美術倶楽部より助成を受けた。

